

方法の如何を問わず、全部または一部の再配布、転載を禁ず。

声 員 科 目 (第 2 回 午 前) 科 目 日 (第 2 回 午 前)

建 築 学 (建築デザインコース) 時間 午前 9 時 30 分 ~ 11 時 30 分

注 意 事 項

- 1. 問題用紙は、全部で 1 枚である。1, 2 ごとに別々の用紙に解答すること。

I : 小論文

1. モダニズム建築の成立以降、現代まで、建築デザインにおいて構造は、~~重要な要素の一つでした。しかしそうした構造に対する考え方は、常に一定不変であったとは言えませんが、そこで、構造デザインと建築の~~
 近年の建築作品を 2、3 あげて、そこでの構造デザインの現代性を、1960 年代頃までの構造デザインとの比較を通して 800 字程度で論じなさい。

2. 都市には、誰でも立ち入ることができる空間、お金を払うなど、立ち入りにある程度の制限がある空間、関係者以外は立ち入ることができない空間があります。それらをどう位置づけるべきかについて、好ましいと考える例、好ましくないと考える例をあげながら、800 字程度で述べなさい。

注 意 事 項

1. 問題用紙は、全部で1枚と別紙1枚である。
2. 配布したA2ケント紙に解答すること。
2. 受験番号を右下に記入すること。(名前は記入しない)

第1問 即日設計

課題：老夫婦のためのセカンド・ハウス

敷地は日本国内の湖畔を想定し、老夫婦が休暇を過ごすためのウイークエンドハウスを設計する。

- 湖は、自然性の高い場所であるが、地域は自由に想定して良い。水位は安定していると考えて良い。
- 小さなボートを所有している。
- 規模：基本的に100平方メートル程度、室の面積配分は自由。
- 老夫婦が建築家である。湖を背景とした風景を、図面中心で表現すること。
- 周辺環境との関係がわかるような図面表現をすること。
- 構造：自由。考え方が図面などに反映されること。

提出物についての注意：

- A2ケント紙（支給）横使い（彩色可）。
- 設計主旨400字程度を図面の中に書き込む。
- 配置図、平面図、断面図、立面図、透視図、アクソメ図、アイソメ図など自由表現。

